

# 今の学校の課題を明らかにし、 解決の方法を探ろう

小学校適正配置を進めるには地域・保護者・学校・教育委員会が対話を重ね、子どもたちにとって最も望ましい教育環境が整うように積極的な協力関係を築いていく必要があります。

また、この問題は倉吉市全体の課題であるため、教育委員会だけでなく市役所の関係部署とも連携をとりながら進めていきます。

問 学校教育課 (TEL 22 - 8166 / FAX 22 - 1638)



## 倉吉市立小学校適正配置協議会

### 目的

協議会は、小学校の適正配置に関するさまざまな課題について協議するとともに、課題の明確化と対応などの調整を図るためのものです。「子どもの望ましい教育環境をどのように実現するかを議論するための場」です。「学校」や「地域」の課題を1つずつ検証していき、適正配置について地域の意見の集約を図ると共に、地域の問題として共有した上でその解決策を話し合います。

### 構成員

- ・地域代表者(自治公民館長など、地区振興協議会長など地区公民館長、民生児童委員、地域学校委員)から2人
  - ・学校関係職員から1人
  - ・保護者(小学校および保育園・認定こども園)から2人
- ※関係者(必要に応じて出席していただき意見または説明を求めます)

代表者は、各小学校区住民の意見・要望を集約し協議会へ反映させます。

**教育委員会**は「教育的な観点」から、子どもたちが学校での集団生活を通してお互いに学び合い高め合うなど切磋琢磨し、多様な考え方や社会性や協調性を身につけて行くことが大切であると考えます。こうした「教育施設としての役割」を十分発揮するためには、適正な児童数・学級数を確保する必要があります。

**住民**には、小規模校のほうがより細やかな教育ができるのではないかと、また、学校は「地域社会における役割」も担っているのではないかと、の意見があります。

学校がなくなる地域において「学校の統廃合が地域の活性化に大きな影響を与えるのではないか」という懸念もあります。

### 進め方

#### 平成29年度

- 4月 全体説明会
- 5月～7月 各地区説明会
- 9月～ 各地区小学校適正配置協議会の立ち上げ

※準備ができれば、小学校適正配置統合準備委員会へ移行

#### 平成30年度～31年度

- 小学校適正配置統合準備委員会設置
- ・統合校の整備(学校教育目標、教育計画および学校運営に関する事項、校名・校歌・校章決定など)

#### 平成32年度

**開校予定**